

名前 _____

理科

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み直す 太字になっている部分は書いて覚えるとよい。	
② 宿題用テキストの基本問題A	
③ 宿題用テキストの基本問題B	
④ 宿題用テキストの復習問題	
⑤ 週テスト復習用を解く。	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって余裕があれば、やりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題A	

発展メニュー (☆) …他の教科の宿題が終わって、さらに余裕があれば、やりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題B	

担当より一言

今回は、圧力について学習しました。

圧力については、 1cm^2 あたり何gかかっているのかを表すもの、ということがわかっていれば基本問題は解けるようになるはずです。

断面積が違うガラス管やピストンをつないだもののつり合いを考えると、圧力が同じになれば良いということを押さえて計算をしましょう。

テキストの問題その2の(2)については、答えの数字を出すための考え方が重要になります。

片方のおもりが重くなり、つり合いが崩れて水面の高さが変わったときは、低い方の水面の高さを基準として、水面が高い方は基準より上にある水がおもりのようにはたらいでつり合う、という考え方はぜひ知っておいてほしいものになります。

水圧については、もっとも重要となることは水面からの深さによって決まっているということと、深さに比例するという事です。物体を水に沈めたときは必ず下の面の方が上の面よりも大きな水圧がかかるので、その差によって浮力が発生しているということまでつなげていきましょう。

気圧については、力学分野というよりも気象の分野で出てくることが多いので、ここでは軽い紹介程度にとどめています。

※G模試の範囲は第43回～第48回になります。

※入試期間中の理科の記述問題の自由課題を教材ダウンロードページにアップいたします。G模試後に他教科との学習の兼ね合いを考えながら、理科を得意にしたい人は取り組んでみましょう。